

パブリックコメント手続で提出された「意見の対応状況」について（令和3年11月19日～令和3年12月20日実施）

意見等を受けた人数
42人

項目	
第1章	「計画策定にあたって」について
第2章	「計画の全体像」について
第3章	「基本方針の展開」について
第4章	「地域別計画」について
第5章	「グリーン・ツーリズムの推進に向けて」について
その他	自由意見等

対応区分別の件数

対応区分	件数
A. 意見の趣旨等を反映し、案に盛り込むもの	6
B. 意見の趣旨等は、素案に盛り込み済みのもの	37
C. 案には盛り込まないもの	3
D. 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの	64
E. その他要望・意見等	87
計	197

パブリックコメント手続での意見

○対応区分 「A. 案に盛り込むもの」、「B. 素案に盛り込み済みのもの」、「C. 案に盛り込まないもの」
「D. 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの」「E. その他要望・意見等」

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
1	第1章	和暦と西暦が併記される箇所では「元号〇〇年（〇〇年）」の表記で統一されているのに、P3（4）SDGSとの関連のみ「平成27（2015）年」表記に揺らいでいることに違和感がある。	ご意見を踏まえ、表記を統一いたします。	A
2	第1章	P3「図1 目標指標の達成状況（第2期計画）」の「進捗」を「達成率」と明記した方が理解しやすい。	令和2年度は第2期計画期間（平成29年度～令和3年度）における最終年度（目標年度）ではないことから「進捗」としているところですが、ご意見を踏まえ、一部表記を修正いたします。	A
3	第1章	P6のグラフ人口増減がよくわかりにくいので、縦軸の値を見直してほしいです。	ご意見を踏まえ、人口の推移と併せて高齢化率の推移が分かり易いものとなるよう、縦軸の値を修正いたします。	A
4	第1章	「グリーン・ツーリズム」はどちらかというと経済的な目的が強く、環境保全（森・山・海の豊かさを守る）や教育（食べ物を自分で作り、生きていく力を身につける）といった文章は出てきませんが、ぜひ連携してやってほしいと思います。	「基本方針2 マイクログリーン・ツーリズムの推進」－「基本施策① 気軽に楽しめる体験メニューの充実」において、「自然景観の維持」や「食」の大切さについても掲げているところです。	B
5	第1章	新型コロナウイルス感染症の拡大により第3期計画については、県内・近隣地域内における「マイクロツーリズム」に目を付けた取組が必要と思われる。	ご意見につきましては「基本方針2 マイクログリーン・ツーリズムの推進」において、取り組むこととしております。	B
6	第1章	コロナウイルスの感染症の拡大に伴い、野外の体験などのニーズが高まっている。各種施設の強化と整備をしてほしい。	野外の体験などのニーズが高まっていることは認識しておりますので、「基本方針2 マイクログリーン・ツーリズムの推進」－「基本施策② グリーンファームをはじめとしたグリーン・ツーリズム施設の効果的な活用と磨き上げ」で取り組むこととしております。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
7	第1章	一度鹿児島を離れて戻ってくると改めて鹿児島の素晴らしさを実感しているが、情報発信力が他県よりかなり弱く感じる。もっともっと鹿児島の魅力、素晴らしさを伝えてもらいたい。その土地に魅力があれば人口増加にもつながるのではないかなと思う。	横断的な取組として「ICT（先端技術）の活用と戦略的な情報発信」に取り組むこととしておりますので、多くの皆様に鹿児島市の魅力が伝わるよう取り組むこととしております。	B
8	第1章	どの地域でも高齢化は免れない中、いかにして農村地域にプレイヤーを増やすかが課題。商工会、勉強会、SNSの中から探し出し支援などを積極的にして行く事が大事だと思う。	「基本方針3 多様な主体による持続可能な体制づくり」の中で、「基本施策② 活動組織等の支援及びグリーン・ツーリズムを担う人材の育成」及び「基本施策③ 若手人材をはじめとする多様な人材の参画促進」に取り組むこととしております。	B
9	第1章	計画された時点では予想もできなかった新型コロナウイルスの感染症拡大により、外国人客や観光客が減少した。社会環境の変化にあわせて計画を見直していくことも必要。	ご意見につきましては、第3期計画を着実に推進するため、進捗状況や目標の達成状況等を定期的に把握・検証し、必要に応じて計画を見直すなど、PDCAサイクルによる進行管理を行いながら、より効果的な施策や事業の展開を図ってまいります。	B
10	第1章	目的や社会情勢の変化や動向について、まさにそのとおりだと思います。そして、課題も的確にとらえられています。あとは市民へのアプローチと目指すターゲットへ向けてのアピール方法について、より具体的に示していくべきだと思います。	賛同のご意見として承り、効果的な情報発信に努め、目標指標の達成に向け取り組んでまいります。	B
11	第1章	SDGsの視点が交流に不可欠？意識しない人の方が多い。	SDGsの推進は、人々が安心して暮らせる持続可能なまちづくりと地域活性化を目指すもので、本市にとっても、多様な主体と連携を図りながら取り組むことが重要であることから、本計画においてもSDGsの視点を取り入れた計画としているところです。	C
12	第1章	グリーン・ツーリズムの「農村地域の自然、文化、人々との交流を楽しむ活動」が重要だと思う。agricultureのcultureの部分をもっと重視してはと思う。Artとして自然をとらえ、体験や交流の内容に文化としての意識、意義を取り入れていく必要があると思う。	第3期計画では「稼ぐ」等の新たな視点を取り入れた計画としているところですが、これまで取り組んできた、農村地域の住民の「生きがい」や、都市部住民の「やすらぎ」、「いやし」の創出にもつなげることとしておりますので、今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
13	第1章	グリーン・ツーリズムのさらなる推進に向けた課題について、情報発信力の弱さが挙げられています。この対策として、今の時代は紙面での広告よりSNSを有効利用した情報発信を行った方が効果的であると考えられます。農業体験と検索した時に一番上に表示されるようにイベントや著名人による口コミなどを積極的に行うと良いと思います。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
14	第1章	鹿児島市内の農泊グループについては、農家民泊・農家民宿等激減している事からすべてを一本化し、協議会に立ち上げる必要があると考える。(例)現在の各地域の農家民泊グループ・鹿児島市ファームステイネットワーク・ムラたび鹿児島を一本化し農泊については、教育旅行、教育体験、インバウンドのすべてを受け付ける窓口とする。	今後、関係機関等と連携しながら、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
15	第1章	令和4年度から5年間で、どのように社会や世界が変化していくかを踏まえ、その変化に合わせて計画もその都度変化させていくことが必要だと感じました。新型コロナウイルス感染症の今後の影響やSDGsを考慮に入れながら実行していくこの計画が、鹿児島市をより良い「まち」、魅力ある「まち」にしていくための「まちづくり」に必要な存在になればと思います。	ご意見のありましたとおり社会状況の変化等を的確に捉えながら、各種施策を実施してまいります。	D
16	第1章	・様々な情報・知識・知恵を共有し合える場所、機会が必要。 ・人口減少してもそれに対応出来るまちづくりを。 ・畜産の後継者の問題があります。農畜産業のソリューションを提案する人が必要。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
17	第1章	食の大切さを考え、新鮮な農作物を提供してもらえらる農家や農業に興味のある方が増えています。(生活スタイル) 一方農家では高齢化、後継者が課題、農作業の手伝いが欲しい方が多い。この二方のマッチングの手段を考える。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
18	第1章	多様、多彩な体験プログラムを提供することで(簡単から踏み込んだ体験プログラムまで)施設の取組に奥深い印象をあたえ、幅広い年齢層に関心を持ってもらえる。さらに積極的な発信で国内外を問わない多くの方々への周知ができ、将来的には来園につながると思う。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
19	第1章	2(1)図1目標指標の達成状況(第2期計画)の指標4の売上は、物品販売と体験収入に分けてあれば、いかに体験収入が低いかが見えると思います。(4)③地域の収益力の低さは、体験を主にする団体の収益力は弱いので、公募型の申請で配分先を決定する助成金の制度があれば、団体の基盤も強化出来ると思います。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
20	第1章	1期、2期計画において、すでに農村地域における都市部住民(観光客含む)による交流人口の活性化が図られており、3期では、さらに地域特性をいかす取組を進めると同時に、地域住民による自主的な参加も促しながら、あらゆる交流の場から地域との更なる関係づくりを目指し、結果短期(ワーケーションや半農半X)・長期(移住)での定着を推進すべきだと考えます。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
21	第1章	新型コロナの影響を受けなければ、目標指標は、ほぼ達成できたことが予想できるため、目標達成できなかった現状をそのまま課題としてとらえることはできない。もし、本当の課題を見つけて分析するとしたら、順調に指標が伸びている平成30年前後が良いのではないだろうか。あるいは、その数字そのものを単に比べて成果として「こうだ」とは言えない。	ご意見として承ります。	E
22	第1章	P5図4の中へ鹿児島市の高齢者数を%の下へ記載するとよりわかりやすい。	ご意見として承ります。 P5の図4につきましては、高齢化率を分かり易く示したものであり、具体的な高齢者数は記載していないところです。なお、グリーン・ツーリズムを推進する上での課題の一つである「高齢化」・「後継者不足」という観点から、P5の図3において、本市人口の推移等と併せて高齢化率を示しているものです。	E
23	第1章	P6各地域(8カ所)を除いた中心部の人口や高齢化率の推移を記載すると対比ができると思う。	ご意見として承ります。 P6の図5につきましては、本計画におけるグリーン・ツーリズムを推進する各農村地域の人口減少及び高齢化率を分かり易く示したものであり、中心部の人口等については記載していないところです。	E
24	第1章	2006年からって、今から色々と考えていかなければならない事で、とても楽しみにしています。がんばって行きましょう。我が桜島の高齢化率が、一番高い事にびっくりです。若い人が住みたいと思う様な魅力ある小学校作りとか田舎ならではの強みを引き出していきたくです。桜島に住むには、やっぱりフェリー代が、ネックになっているので、住人にやさしい料金設定にして欲しいです。	ご意見として承ります。	E
25	第1章	推進に向けた課題も難しい点が多いと思われませんが、少しでも解決できます様に願います。	賛同のご意見として承ります。	E
26	第1章	良い	賛同のご意見として承ります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
27	第1章	SDGsの視点で4つの目標が取り入れられているが、もう一つ「12のつくる責任つかう責任」も入れてはと思う。農産物を生産する側と消費者の意識づけは必要かと思う。	ご意見として承ります。	E
28	第1章	P4～アクティビティやモニターツアー、プレミアムな体験型観光について注釈した方が理解しやすい。	ご意見として承ります。	E
29	第1章	コロナの影響もあり、第2期の目標に達しなかった事は仕方無いと考える。第3期計画作成にあたり「マイクロツーリズム」を加え、これに重点を置く点にも納得がいく。いまさらではあるが、まずは近隣の都市部と農村地域、次に国内からの来客増→海外からの来客増と計画を進める事も必要かなと思う。	賛同のご意見として承ります。	E
30	第1章	計画策定の趣旨等はとても大事で必要なことと思います。定義の中で「農業振興地域やその周辺」に限定している？ことに少し疑問を感じます。鹿児島市は、コンパクトシティ構想を制度的にも地域住民に「押し付ける」考えなのでしょうか？農業振興地域以外の住民でも「地域の発展」をみんなで願っており、実践している人もいます。超過疎地の人々が願うとともに発展したいの思いは蚊帳の外でしょうか？この「超過疎地域」の発展施策を検討するセッションは別なのかもしれませんが…	本計画における農村地域とは、農業振興地域のほか、森林法、漁業法などに基づく区域等としており、本市では、8つの地域を定めているところでございます。	E
31	第1章	社会環境の変化、生活様式の変化はコロナ等により、大きく見直されている。これらを踏まえての計画策がされていると思う。	賛同のご意見として承ります。	E
32	第1章	人口減少、また働き手の不足など考慮が必要です。	ご意見として承ります。	E
33	第1章	都市部住民や観光客のニーズに対応するとともに、農村地域の活性化を図るべく策定されているとのこと。P3図1では体験者数の推移があるが、どのカテゴリーの人なのか分からない。鹿児島市民なのか東名阪などから来た観光客なのか。売上額が目標に達していないとのこと。県外からの観光客の誘致の強化が必要との分析があてはまると思いますが…	ご意見として承ります。	E
34	第1章	屋外での体験等が充実していて、グリーンファームを訪れる際は、いつも子供達は楽しそうに思っています。先日は、夜に屋外での映画上映もされたとのこと、とても興味深かったです。	賛同のご意見として承ります。	E
35	第1章	新型コロナウイルス感染症の拡大により生活環境が大きく変わってしまい、人の移動制限、三密回避取組の徹底で地域の収益が確実に減少した事に不安を感じるので地域活性化を目指すにはすばらしい内容だと思います。	賛同のご意見として承ります。	E
36	第1章	SDGsを実践するため食料を無駄にしないしくみを作る。コンビニ、スーパーなどの賞味期限をゆるくする。一人一人の意識を変える。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
37	第1章	SDG s を取り入れた計画はとても良いと思います。	賛同のご意見として承ります。	E
38	第1章	考え方の根本やこれまでのデータがあり、良さと思いました。	賛同のご意見として承ります。	E
39	第1章	計画策定にはあたっては、“自然に親しむ”との問いかけを広く市民に行うようにする。(市の機関でのアンケート等)市民へは「グリーン・ツーリズム」との表現を使うより「自然に親しむ」等の使用が分かりやすいと思います。また、鹿児島は中央と比べて地域収益が低い点、人材資源を含め、資本などの活用資源の不足と発信力の弱さを加味されるべきだと思います。	ご意見として承ります。 「グリーン・ツーリズム」の表現については、その意味が広く市民に浸透するよう今後とも努めてまいります。また、グリーン・ツーリズムの推進に向けた課題として、収益の低さや人材不足、情報発信力の弱さなどとしているところでございます。	E
40	第1章	課題として体験や情報発信についてのアイデアの柔軟性を挙げたい。(4)①～④に挙げられる課題の解決に対してこの意見用紙のようにより広く、かつアイデアを出すことを専門とする職業(例:イベント会社、プランナーなど)の方に監修してもらいながら、コロナに負けないグリーン・ツーリズムを考えていきたい。	ご意見として承ります。	E
41	第1章	少子高齢化後継者不足は他市町村はもとより、鹿児島市も直近の課題として見過ごすことができない状況下、インバウンド観光客の集客はもとより農林水産業事業者の高齢化に伴い人手不足が直近の課題となっている。人口増加地域活性化の一助として農林水産業への労働者確保事業へ取り組みは考えられないか。	ご意見として承ります。 今後とも、農林水産業所管部署とも連携して取り組んでまいります。	E
42	第1章	グリーン・ツーリズムのさらなる推進に向けた課題の中で、特に受入体制の弱さを改善させるために、修学旅行を主とした「農家民泊」から、一般客や外国人の受入れも可能となる「農泊」への積極的な転換を明確化すべきです。また、地域の収益不足や地域資源の活用不足の解消のために、改めて周辺市を含め60万人をはるかに超える域内住民の「地産地消」への意識向上も早急に取り組むべきであり、この取組がSDG s の目標達成にも寄与するのではないのでしょうか。	ご意見として承ります。 受入体制については、まず「農家民泊」の受入家庭増加が、一般客の受入も可能な「農家民宿」につながるものと考えております。また、「基本方針2 マイクログリーン・ツーリズムの推進」-「基本施策① 気軽に楽しめる体験メニューの充実」の中で、「地産地消」にも取り組むこととしております。	E
43	第1章	鹿児島市は県都としての都市的機能とともに、谷山をはじめとする7地域が特性あるまちづくりをしています。これまでの計画を振り返りつつ、社会情勢をふまえた策定に取り組んでいただきたいです。	ご意見として承り、各農村地域の特性等を生かし、社会情勢の変化にも対応しながら、グリーン・ツーリズムの推進に取り組んでまいります。	E
44	第1章	その通りと同意致します。が、私の場合、かごしま環境未来館の登録団体である為、他団体とのSDG s を通しての交流・情報のやりとりができる。綿花を通して市の文化財課、グリーンツーリズム推進課、観光プロモーション課、グリーンファームと接点を繋げる事により、相手からの企画の提案が生まれて集客・教育・歴史遺産・生涯学習・各障害施設・保育園他諸々繋がっている。情報化ですので、ネタを持ち寄り1つずつ解決する事がヒントにつながるかと考えます。	賛同のご意見として承ります。	E
45	第2章	P 7, 8 など「ICT (先端技術) の活用と～」という文言が多く記載されているが、ICTの語の後に記されているカッコ書きが「(先端技術)」であることに違和感がある。用語解説にあるようにICTは一般的には「情報通信技術」と訳されるし、省略前の英単語にも「先端」の意味はない。カッコ書きの記載を改めるか、本文中で本計画におけるICTの語を定義づける必要がある。	ご意見を踏まえ、計画中における「(先端技術)」を削除いたします。	A

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
46	第2章	鹿児島県の文化としての体験メニュー開発、各団体の連携・ネットワークづくりを行う人、研修プログラムをつくる人等、人材の育成が欠かせないと思う。農村地域に新しい風を入れることが若い人たちの定着につながり、経済効果をあげることになると思う。	「基本方針3 多様な主体による持続可能な体制づくり」の中で、「基本施策② 活動組織等の支援及びグリーン・ツーリズムを担う人材の育成」及び「基本施策③ 若手人材をはじめとする多様な人材の参画促進」に取り組むこととしております。	B
47	第2章	基本目標に掲げてある「稼ぐ体験型ツーリズムの推進による農村地域の活性化」はその地域周辺に住んでいる住民の方にとっても良い起爆剤になると思う。収入増加が見込めれば自ずとやる気もでると思う。個人では難しいと思える事も、みんなが協力すると成し遂げられる事も多いと思う。	「基本方針3 多様な主体による持続可能な体制づくり」－「基本施策② 活動組織等の支援及びグリーン・ツーリズムを担う人材の育成」、「基本施策③ 若手人材をはじめとする多様な人材の参画促進」の中で取り組むこととしております。	B
48	第2章	素晴らしい基本目標だと思います。いかにプロデューサー（公共）メインプレイヤーが出口戦略をイメージ実行出来るかが大事だと思う。	賛同のご意見として承ります。 「基本目標：稼ぐ体験型ツーリズムの推進による農村地域の活性化」を着実に推進するため、今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	B
49	第2章	グリーンファーム以外にも素敵な魅力ある施設、団体はあると思うので、関係団体の連携やSNSについても協力してはどうかと思う。	「基本方針3 多様な主体による持続可能な体制づくり」において取り組むこととしておりますので、情報発信等も含めて連携してまいります。	B
50	第2章	よく網羅されていると思います。 マイクログリーン・ツーリズム～ もっと身近に接することができればと考えます。	賛同のご意見として承ります。 今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	B
51	第2章	SNSを利用した情報発信や若者向けの体験型ツーリズムを創出したりと、若い世代の観光客を増やすことを重点的に考えることが、売上額の増加等に大きな効果をもたらすと考えています。進学や就職で鹿児島市に移住してきた若者を対象にしたグリーン・ツーリズムの宣伝等を積極的に行うことも目標の実現に繋がると感じました。	横断的な取組として「ICT（先端技術）の活用と戦略的な情報発信」に取り組むこととしておりますので、多くの皆様に魅力が伝わるよう取り組んでまいります。	B
52	第2章	5つの目標指標を設定し、稼ぐ体験型ツーリズムの推進による活性化を基本目標としているが、稼ぐことも大事かもしれないが、稼ぐ事を重点にすれば無理が生じてくるのではないか。	「基本方針3 多様な主体による持続可能な体制づくり」において取り組むこととしております。	B
53	第2章	稼ぐ＝単価上昇であれば利用者数増の目標は必要ないのでは？	「稼ぐ」ことが重要であるとする一方、利用者の「やすらぎ」や「いやし」の創出にもつなげていくことが大事であることから、より多くの人に利用していただくことを目標のひとつとしているところです。	C
54	第2章	地域に合った特徴が前面に出せる様な物を集約して一点に絞って取組めればと思います。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
55	第2章	人口減少は社会全体の問題なので、そろそろ売上増、人口増、交流人口増、件数増といった増加指標だけでは測れなくなっていると感じるので、どうやって「適正規模にしていくか」はPDCAを行う上で大事な視点なのではないか。	今後も、人口減少を見据えた取組みは重要であることから、後継者育成や多様な人材の参画促進等を図りながら、農村地域の活性化につなげてまいりたいと考えているところです。	D

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
56	第2章	SNSのフォロワーを増やすために、フォローして頂いた方にフォロー画面を提示してもらって、その方に特典や割引サービスなどのキャンペーンを行うと良いと思います。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
57	第2章	稼ぐ体験型ツーリズムの推進による農村地域の活性化を目標にする事は大賛成であるが、回遊性の高い魅力ある着地型の地域づくりと地元産品を使った食の提供と土産物の開発を手助け若者が定住できる儲かる仕組みづくりが必要である。	今後、関係機関等と連携しながら、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
58	第2章	収益力の高いプレミアムな体験型観光の内容が不透明。目標指標についても、例えば3の受入家庭数を増やすとのことだが、どうやって増やす？ 現状17軒の農泊事業者を5軒増やせるのか？ 稼ぐ形をどうやって創出し、次世代の担い手を育てるのがポイント。 農村地域住民の「生きがい」を稼ぐ形の創出を平行して実現するのはとても難しそう。「生きがい」の創出で稼げると良い。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
59	第2章	(個人的には) キャンプなどの体験はとても子供達には楽しい体験である一方、キャンプの準備に手間や後片付けなど…大人(親)にとっては少々大変な面もあり、地方で癒されるどころか疲れが尚更たまる印象もあります。グランピング利用をしてみたいです。グリーンファームで作った野菜をシェフさんに料理していただき、のんびりと自然の中で過ごしてみたいです。上記のような内容をICTを利用して発信するなどはどうでしょうか。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
60	第2章	県内外問わず、オンライン・ネットを利用して両者の交流を目指す。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
61	第2章	ICTの活用には既存のデジタルコンテンツの強化が必須。扱いやすさを念頭に整備すべき(HPのスマホ対応など)	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
62	第2章	施設を充分楽しんでもらうためには、スタッフの資質向上、人材育成が現在最も重視すべきことだと思う。また、各地域とコラボイベントを行うことで、それぞれの地域、施設の取組を周知するきっかけにもなるし、利用者の行動・計画の視野を広げ、複数地域への来訪につながると思う。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
63	第2章	2計画の体系は、8つの地域を連携させるために「体験型のスマホポイント制」を作り、どこの地域でも同じ価値で使えるようにしたいと思います。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
64	第2章	コロナでインバウンドは、しばらくの間、見込めないのではないと思う。国内(県内)需要でスキルを磨きつつ、インバウンドは附属的に受け入れるのが良いと思う。数値の目標設定は視覚的に評価できるので良いかもしれないが、それにとらわれない評価も考慮すべき。SNSのフォロワー数の他に、月に何度、何を、どこの団体が投稿したのかの「発信側」のアクションも大事な評価のポイントだと思う。	ご意見として承ります。情報発信回数等も重要な評価ポイントだと考えておりますが、目標指標としては、確実に把握できる数値であることや、現在のトレンドを意識し、「SNSフォロワー数」を掲げているところです。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
65	第2章	P7中段の横断的な取組としてICT（先進技術）の活用と戦略的な情報発信を設定→…ICT（先進技術）の活用と市民のひろば、パンフレット、新聞、テレビなどの広報を含めた戦略的な情報発信にした方がよい。	ご意見として承ります。 これまでと同様に、市民のひろばやパンフレット等での情報発信に加え、SNSを利用した情報発信にも重点的に取り組むこととしており、これらを総合した効果的な情報発信を強化するという主旨での表記としております。	E
66	第2章	桜島の荒地にオーツ麦（オートミール）を植えてみる？今、一番人気で、身体に良く、食べやすいです。熱湯をかけて少し待つと、おかゆさんの様になり、うめぼしとの相性がすごく良い。老人にも簡単に出来て「トロリ」としているので誤嚥を防げる。私は新島にも植えてみたいと思っています。その昔、からいも、麦を作っていて麦ふみが楽しかったので現代の子供達にも経験させてあげたいです。	ご意見として承ります。	E
67	第2章	良い	賛同のご意見として承ります。	E
68	第2章	「稼ぐ体験型ツーリズム」が目標となっているが、市の団体が「稼ぐ」という事は現状の農家・漁師の人達の収入が減る事にもつながる可能性を含むがこの点の考え方がはっきり見えない。	ご意見として承ります。 対象は、農家や漁師等、グリーン・ツーリズムの活動に関係するすべての個人、団体を指しているものでございます。	E
69	第2章	民泊と民宿のリノベーションは大事。年配の方こそ、スマホやノートPCを使いこなせるべき。自作PCを作るのも良い。	ご意見として承ります。	E
70	第2章	(案) 基本方針1 ICTの活用による情報発信 基本方針2 地域の農地・山林・各種施設等の地域資源の活用 基本方針3 地域内外の多様な主体の連携による受入体制の整備 ※グリーン・ツーリズム、マイクログリーン・ツーリズムなど同じワードの重複が多い。(全体的に)…その他の意見	ご意見として承ります。	E
71	第2章	「稼ぐ体験型ツーリズムの推進による農村地域の活性化」により、農村地域が盛り上がる事を期待します。	賛同のご意見として承ります。	E
72	第2章	農村地域の活性化、推進のために役所の方も2～3年で異動するのではなく、7～8年ぐらい腰をすえて地域に入り込んで頑張ってもらいたい。	ご意見として承ります。	E
73	第2章	やすらぎ、癒しを感じ、「また行きたい」と思ってもらえる交流を目指し、目標としては稼ぎながら農村地域の住民、都市部住民ともに「お得」だと感じる仕組みづくりを考えていくことが大切。	賛同のご意見として承ります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
74	第2章	活動や産品に魅力がないと広く市民に浸透しない為、稼げません。魅力的な名物やイベントをプロデュースして発信する様してほしい。また、SNSなどの媒体の活用をはじめ、マスコミへの売込みを活発に行ってほしい。他県都会の学校へ修学旅行を利用した売込みと、職場、団体への研修的利用をプロデュースして発信してほしい。「農家民泊」は各農家のハードルが高い気がするが体験農場の増加を望む。	ご意見として承ります。	E
75	第2章	グリーン・ツーリズムに携わる人数についてのデータがないことが気にかかる。体験をもらった方の人数もだが、携わった人数が伸びないことには、体験の満足度の向上にはつながらないように感じた。目標としてぜひ設置、把握をしていただきたい。	第2期計画においては「鹿児島市グリーン・ツーリズム登録団体等数」を目標指標として掲げておりましたが、第3期計画では、基本目標として「稼ぐ体験型ツーリズムの推進による農村地域の活性化」としていることから「鹿児島市グリーン・ツーリズム登録団体等における売上額」を目標指標としているところです。ご意見のありました「グリーン・ツーリズムに携わる人数」については、本市登録団体等以外の正確な人数は把握していないところですが、「基本方針3 多様な主体による持続可能な体制づくり」の各種施策において、人材の発掘や育成に取り組むことによりグリーン・ツーリズムを推進してまいります。	E
76	第2章	日本また、インバウンド観光客については自然環境及び優れた食材をもつ鹿児島。コロナウイルス終息後、情報発信次第では目標指標以上の集客が見込めるのではと思える。	ご意見として承り、効果的な情報発信に努め、目標指標の達成に向け取り組んでまいります。	E
77	第2章	ツーリズムを単に観光面（旅行等）として捉えるのではなく、広義に地域に人を呼び込み活性化の糧とすることを旨とするにより、結果地域が稼げる流れが創られると思います。そのための体験メニューの多様化、充実を整えることが必須であり、そこに地域の住民や外部団体（団体・企業等）を呼び込むことが大切です。基本方針1の①宿泊機能の強化について、人材や資金面への十分な支援が重要です。基本方針2の③学校等との連携強化では、他に具体的に地域のコミュニティ団体や企業（農業法人等）への積極的な働きかけを加え、基本方針3の②人材の育成にも繋げるべきだと考えます。目標指標3の数字については、農家民泊を伸ばすのではなく、農泊（農家民宿）や農家レストラン、市民（体験）農園など地域資源（素材）をいかせる施設の開業を積極的に図るべきです。	ご意見として承ります。なお、「目標資料3」において「農家民泊、農家民宿の受入家庭数」を掲げている理由としては、「基本方針1 稼ぐ「KAGOSHIMAグリーン・ツーリズム」の展開」の中で「基本施策① 宿泊機能の強化」に取り組むこととしており、「基本目標 稼ぐ体験型ツーリズムの推進による農村地域の活性化」を推進する上で最も重要と考え掲げているところです。	E
78	第2章	理想を現実にするためのイメージが目にかぶ形で示してほしいと思いました。	ご意見として承ります。	E
79	第2章	下鶴市長が述べていた「稼ぐ…」グリーン・ツーリズムの推進に向け、関係する有識者、現場の声を聴いていただきたいです。方向性を支持します。	賛同のご意見として承り、引き続き、関係団体や有識者等、様々な方面の意見を取り入れながらグリーン・ツーリズムの推進に取り組んでまいります。	E
80	第2章	多様な主体により持続可能な体制づくり、ICT活用と戦略的な情報発信とありますが、その通りで同感です。しかし現実には地域格差、個人の意識の問題が数多く有、地方に行く程強く現れるのが実情で苦勞をしている。	賛同のご意見として承ります。また「第4章 地域別計画」において、各農村地域の特性や現状・課題を踏まえ「(3) 目指すべき方向」や「(4) 具体的な取組」を掲げており、各農村地域の関係者等とも連携しながら推進してまいります。	E
81	第3章	P10①宿泊機能の強化の中の「受け入れ体制を充実」とP11③インバウンドへの対応の中の「受入体制の強化」のように、同一の単語なのに表記が統一されていない箇所が見受けられる。同じ意味・用法で用いられているのであれば、表記を統一する必要があると感じる。	ご意見を踏まえ、表記を統一いたします。	A

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
82	第3章	「稼ぐ…」の発展をするための「豊かな自然・景観や貴重な文化遺産」の強みを生かす。インバウンドを含めた観光客受入のための…ウェブサイト等の活用促進等を図る。どちらも大切であり欠かせないものではありませんが、受入側「農家等」では対応不可と思います。推進する行政と実践する農村地域との間に支援スタッフ（NPO等）が必要であると考えます。	「基本方針3 多様な主体による持続可能な体制づくり」において取り組むこととしております。	B
83	第3章	宿泊施設については今般宿泊料金の見直しを行い、農家民泊、農家民宿共に稼げる受入体制作りを目指し、受入家庭数の増加を目指す必要がある。	ご意見については、関係機関と連携しながら取り組んでいくこととしており、受入家庭数については「目標指標3」において「農家民泊、農家民宿の受入家庭数」を掲げているところです。	B
84	第3章	体験した人々に感想や要望を聞くことが、大切だと考えました。体験者の視点からは何が見えているのかを聞くことで、より活性化していき、リピーターの増加にも繋がると思います。体験してもらっただけでなく、グリーン・ツーリズムの発展に協力してもらうことも必要だと感じました。	各種体験の実施時にアンケートを行い体験者のご意見をお聞きしているところですが、グリーン・ツーリズムのさらなる推進に向け、今後もアンケート等を活用して、感想・要望等を参考にしていまいります。	B
85	第3章	高付加価値化・差別化が一番重要だと思う。どんな人工物も結果的に大自然の持つ偉大さには勝てないと思う（お城、サグラダ・ファミリアなどは別として）。地域、地形などを最大にアピールし、そこを活かした新しい産業の創出を出来る県外のプロデューサーが必要だと思う。	「基本方針3 多様な主体による持続可能な体制づくり」－「基本施策② 活動組織等の支援及びグリーン・ツーリズムを担う人材の育成」及び「基本施策③ 若手人材をはじめとする多様な人材の参画促進」において取り組むこととしております。	B
86	第3章	ガソリン代や時間を使って、農振地域まで行く価値をどうつけていくか、正しくニーズを把握し続けることが重要。	「横断的な取組：ICT（先端技術）の活用と戦略的な情報発信」において、ICTを活用した情報収集や分析によるマーケティングの強化などを図ることとしております。	B
87	第3章	マイクログリーン・ツーリズムの推進も目標を定め、各種団体、会社等や教育機関との連携も必要である。	ご意見につきましては「基本方針2 マイクログリーン・ツーリズムの推進」において、取り組むこととしております。	B
88	第3章	基本方針1について、鹿児島市内におけるグリーン・ツーリズムの展開地域を、農山漁村地域に改めてはどうか。豊かな自然や景観は、山林にも、海（錦江湾）にもあり、今までの“農村”から拡大を現した方がよいと思います。また、都市部（市街地）の近接して存在する農地や農家住宅（古民家）等も、その立場の優位性から鹿児島市独自の地域資源であると考えます。	ご意見として承ります。 なお、グリーン・ツーリズムの展開地域については、森林法や漁業法等に基づく区域及びその周辺も含むこととしております。	B
89	第3章	P13上から3行目…「修学旅行等の教育活動の受入強化」を「修学旅行等の農林水産体験の教育活動の受入強化」にした方がよりわかりやすい。	ご意見として承ります。 本計画における修学旅行等の受入については「農山漁村での暮らしを丸ごと体験する」ことを指しており、農林水産体験だけに限定されないことから、現在の表記としているところです。	C
90	第3章	集客するために交通手段を増やす必要があると思います。バス停留所を設けたりバスツアーのプログラムとして取り入れたりすると良いと思います。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
91	第3章	稼ぐ～ インバウンド誘致の際、他県、他市との差別化、グリーンファームでしかできないものなど造成いただきたい。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
92	第3章	桜島は鹿児島島のシンボルであり宝。基本方針1-②に記載してある通りブルーツーリズム、ジオツーリズムとの連携は大歓迎。インバウンド需要の創出については鹿児島にある2つの世界自然遺産や九州内のコンテンツとの連携が求められる。SDGs海の豊かさを守りつつ、錦江湾の恵み(深海魚、スキューバダイビング)などの深掘りを期待する。(鹿児島大学との連携)	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
93	第3章	グリーンファームのキャンプ場利用者が増加傾向にあることから、今後も都市からの利用者が多くなると考えられる。平日の利用も増加するように、ICT(Wi-Fi)をキャンプエリアにも整備し(整備済?)首都圏などからの人々の「ワーケーション(グランピングも視野に入れて)」利用できるようにする。農業に関係する企業の保養地となるような働きかけもあるといいと思う。温泉やサウナなどの施設があれば尚更楽しいと思う。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
94	第3章	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家を活用した格安物件とかあったら良い。 ・DIY(ログハウス建設、ビザのかまど等)、ブッシュクラフトの講習をやって欲しい。 ・狩猟の体験実習を。 ・アスレチックハウスを作るのは? ・特産物の試食会は? ・サバゲーを行うのは? ・バイオトイレの設置を。 ・スローフードレストランを。 	今後、関係機関等と連携しながら、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
95	第3章	沢山のデータの集力が大切。農家では手伝いの欲しい時期、農作物の状況を資料化、具体的に人材を求め交流を深める。オンライン等々、担い手の発掘、農家から豊かな自然、景観、地域の資源を受けるほうが喜ぶ内容を提供。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
96	第3章	インバウンドへの対応は、Wi-Fi環境、多言語表記だけではなく人と人の交流も大切なのではないかと思う。観光客対応の体験も言葉がわからなければ楽しめないのも、受入側もある程度の外国語が話せる人材が必要だと思う。素敵な体験・経験が口コミにつながり、インバウンド増加につながっていくのでは。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
97	第3章	地域ならではの特性に気づき、気軽な時短プログラムにおいても、興味深い行程、ツーリズムのコンセプトを十分織り込むなど内容を重視し、来園満足度を上げる。それにより来園者の発信をも促せる。体験消費額アップにもつながるのでは?	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
98	第3章	基本方針3の③は、参加者がスタッフとして活動を担うような仕組み作り。例えば行政が分野別のボランティア登録制度を作り、教育し、各活動団体へ人材を紹介し、参加したボランティアにはポイントを与える仕組み。大分に水源涵養の山を守る団体があり、そこが行政と連携して成功している例がありました。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
99	第3章	ICTを活用とありますが、具体的にはSNSぐらいしか書かれていないのでICTというには弱いと思います。VR観光、野菜に関する動画配信など活用すべき技術はたくさんあると思います。	「横断的な取組」において、ウェブサイトやSNSを用いた効果的な情報発信等に取り組むこととしておりますが、ご意見のありました提案についても施策の参考とさせていただきます。	D
100	第3章	これからの日本を背負っていく若者等、修学旅行生を対象とした民泊企画、体験学習等については強く取り組み、農家民泊の強化、また、地域に点在する廃校・廃施設等の活用は見込めないか。地域活性化につなげられないか。	農家民泊については、本計画においても重要な項目と考えており、目標指標の中で「農家民泊、農家民泊の受入家庭数」を掲げているところですが、今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
101	第3章	基本方針2では、グリーン・ツーリズムの拠点施設の拡充が不可欠であり、喜入（グリーンファーム）、松元（お茶の里）に加え、吉田（輝楽里よしだ館）、郡山（八重の里）、桜島（火の島めぐみ館）の各施設にも休憩場所を兼ねた交流・活動スペースやEV対応の充電施設等を設置することで、今後の県外利用者や地域住民の新たな支援にも繋がるGT拠点施設としての機能を付加してはどうか。③「修学旅行等の教育活動」だけでなく、一般企業の福利厚生等のニーズにも対応できる「体験型宿泊観光＝KAGOSHIMA ツーリズム」の強化に努めるべきだと考えます。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
102	第3章	基本方針3にある人材発掘においては、本市自ら積極的なリクルート活動を展開し、国の「農村プロデューサー養成講座」や地域おこし協力隊制度等を活用し育成を推進すべきです。さらに、グリーン・ツーリズム登録団体への支援強化やGTインストラクターの再編等による、農村地域づくり事業体（農村RMO）への育成にもつなげることで、受け皿の充実も併せて進めます。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
103	第3章	①運営マネジメント組織・ネットワーク強化、②人材の育成、③多様な人材を促進するにクリアすべき問題として考えるのは、地方自治体への意識改革、優先目標の明確な提示。自治会長、班長、まちづくり協議会、敬老会、PTA、婦人会、社会福祉協議会、こども関連、体操、公民館等々あげればキリがありません。皆さん長老、長（オサ）名誉職と考えておられ長く努めている為、世の流れに対してのキャッチするアンテナが低すぎる気位ある。ここをどうにかしていかないと改革は難しいと考える。異人館で世界遺産課の方や戦略（シティブロ）の皆さんと仕事をした時、20前後の若い情報発信力に驚かされて、今からの時代はこうなんだろうと考えた。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
104	第3章	特に意見はなし。担い手を育成することは特に賛成。グリーン登録団体によって欲している人材はそれぞれなので、各団体が主体的に人材育成講座を展開するようになると良いと思う。	賛同のご意見として承ります。	E
105	第3章	P15上から2行目…効果的な情報発信力の強化→市民のひろば、パンフレット、新聞、テレビ等の広報を含めた効果的な情報発信力の強化にする方が理解しやすい。	ご意見として承ります。 これまでと同様に、市民のひろばやパンフレット等での情報発信に加え、SNSを利用した情報発信にも重点的に取り組むこととしており、これらを総合した効果的な情報発信を強化するという主旨での表記としております。	E
106	第3章	良い	賛同のご意見として承ります。	E
107	第3章	基本方針の稼ぐは、あまりにも金に固執した感じを受けてしまうので、工夫すべきと思う。	ご意見として承ります。 持続可能な農村地域の活性化を図るうえで、収益力の向上は必要不可欠であると考えておりますが、ご意見につきましては「第2章 計画の全体像」－「1 基本目標及び基本方針」の中で、これまでと同様に、農村地域の住民の「生きがい」や、都市部住民等の「やすらぎ」、「いやし」の創出にもつなげるとしているところです。	E
108	第3章	空き家対策等、他の部署との連携も視野に活動できる様にしたい。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
109	第3章	2章と関連 全体的に整理	ご意見として承ります。	E
110	第3章	各地域の幅広い年齢の方たちが気軽に楽しめる活動、また、交流の場に加え「稼ぐ体験型ツーリズム」は、若年層・シニア世代にも参加したくなる要素が詰まっており、農業や農村地域に魅力を感じられる内容になっていると思います。	賛同のご意見として承ります。	E
111	第3章	稼ぐ体験型ツーリズムを実施するには、一般収穫体験では無駄になる作物が多いので、販売にも力を入れてきました。その結果売上げ倍増です。	ご意見として承ります。	E
112	第3章	インバウンドへの対応として、Wi-Fi環境や多言語表記、キャッシュレス決済などの整備を推進するのはとても良いと思います。コロナの関係でキャッシュレスを新たに導入しているお店などが増えているので。	賛同のご意見として承ります。	E
113	第3章	鹿児島は桜島や歴史など、取り上げやすい特長があるので、いろいろやられるのは良いことだと思います。	賛同のご意見として承ります。	E
114	第3章	先に述べた様に「稼ぐグリーン・ツーリズム」での農家民泊は受け入れ農家も食事、入浴等ハードルが高い気がしています。周辺の旅館、ホテルの空きを利用して補助を行う取組みが現実的であると思います。同じく空き家等は、市が整備補修が可能であれば学生・団体等の合宿、研修に利用する方向が現実的ではないでしょうか。各取組みや協力団体を連携するマネジメントへの取組みは必要と思われる。	ご意見として承ります。 農家民泊については、食事の準備は修学旅行生との共同調理であること、入浴は銭湯を利用することも可能であること等、周知に努め、受入体制の充実に努めてまいります。	E
115	第3章	若手人材の育成や参画についてもっと具体的な案や方針があっても良いように感じた。大学や高校の連携によるグリーン・ツーリズムの周知育成も重要だが、転職を考える方へのアプローチや情報発信など積極的に取り組んでいただきたい。	ご意見として承ります。	E
116	第3章	需要をイメージできていない方が多いと思います。稼ぐフロー図みたいな「絵」があるといいと思います。	ご意見として承ります。	E
117	第3章	体験することは体験したその人はもとより、受け入れる市民にとっても、互いに「絆」を深めるきっかけだと思います。方針・内容ともに支持します。	賛同のご意見として承ります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
118	第3章	農家民泊については、県としては特例農家民泊受け入れ家庭を増やすつもりはなく、農家民宿を増やしていく方向だと聞いています。そのような中で、特例受け入れ家庭を増やす目標との整合性はあるのでしょうか。さらに既存特例受け入れ家庭としても、新規家庭の開拓に気持ちが向きません。	基本目標「稼ぐ体験型ツーリズムの推進による農村地域の活性化」を推進する上で、宿泊機能の強化は重要な要素であると考えております。基本方針1でも修学旅行などの誘致に取り組むとともに、その受け皿とする農家民泊の増を図ることとしておりますので、既存受入家庭のご理解も得ながら、連携して推進していきたいと考えております。	E
119	第4章	P19とP31の農家民泊受入家庭数14軒（伊敷・郡山地区合計）とあるが、伊敷と郡山に分けた方がよい。	ご意見を踏まえ、伊敷地域と郡山地域を分けて記載いたします。	A
120	第4章	地域の特徴を活かした取り組みを行い、同じ目的がある場合は他地域と協力し合いながら進めると良いと思います。	「基本方針3 多様な主体による持続可能な体制づくり」－「基本施策① 各地域における運営マネジメント組織・ネットワークの強化」において取り組むこととしております。	B
121	第4章	地域ごとの実情は違いますが、喜入地域においては南北に長く海を利用した取組をもっと大々的に進める。	地域別計画において「沿岸部での漁業体験」や「鹿児島ユナイテッドFCと連携した体験・交流メニューの推進」等に取り組むこととしております。	B
122	第4章	喜入地区 畑がない民泊をしている者にとっては、グリーンファームでその体験を提供できるのありがたい。民泊＋グリーンファームでビジネスができたらと思う。	「第4章 地域別計画」－「6 喜入地域」においても、グリーンファームを拠点とした都市と農村の交流拡大に取り組むこととしておりますので、農家民泊及び農家民宿をはじめとする各種取組で、地域が稼げるよう連携してまいります。	B
123	第4章	いずれの地域においても、収益は実施団体の努力のみであるので、行政の支援があればと思います。	「基本方針3 多様な主体による持続可能な体制づくり」－「基本施策② 活動組織等の支援及びグリーン・ツーリズムを担う人材の育成」の中で取り組むこととしております。	B
124	第4章	民間の小規模施設については今後マイクロツーリズムの受け入れが重要になると考えますが、広報力や情報発信力が弱い施設も多いので、行政の方でニーズとのマッチング等の支援をしていただけたら良いと思います。	「横断的な取組：ICT（先端技術）の活用と戦略的な情報発信」の中で、データを活用したマーケティングやウェブサイトやSNSを用いた効果的な情報発信に取り組むこととしております。	B
125	第4章	地域ごと、通年で体験できると持続性、稼ぐにもつながると考えます。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
126	第4章	田舎遺産マップを作り、ここでしか体験する事のできない観光コース・体験コースの構築を計る。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
127	第4章	P12 基本方針2 マイクロツーリズムの推進にも言及があるが、桜島はインバウンドや県外からの誘客に注力する一方、その他のエリアは県内需要もしくは修学旅行の取り込みとターゲットを絞るべき。個人的にグリーンファームはよく体験させてもらうが、高価格帯のプログラムを創出することで、県外からの誘客につながる可能性はあると感じている。	ご意見のありました地域ごとのターゲットにつきましては「第4章 地域別計画」の中で「目指すべき方向性」や「具体的な取組」を掲げ、推進することとしており、今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。また、グリーンファームに関するご意見につきましても、今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
128	第4章	各地域で空き家、古民家を提供し長期滞在も可能な場所が各地域で5カ所くらい欲しい。個人の家庭は高齢化のため、若い層の受け入れには良いのでは、公的な支援がなくては実現が難しいかも。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
129	第4章	それぞれの地域の特徴を活かした体験には、長年の経験や若年層の新しい発想を取り入れ、地域一丸となり活動することで地域活性化につながっていくと期待します。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
130	第4章	喜入 都市と農村の交流拡大“都市”を具体的に絞って段階的にターゲットとしたほうが計画しやすいと思う。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
131	第4章	グリーンファームは交通の便が悪く、体験に合った時間のバスがあれば便利。（喜入駅からグリーンファーム行きバス）	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
132	第4章	（グリーンファームにおいて）地域の方々との交流を深め、昔からの慣習、歴史や近年ではサッカーの練習施設などの広報をかねたイベントの実施。季節に応じたキャンプイベント、収穫イベント、開園記念イベントなど、内容を区別したイベントを実施する中で、その中のひとつでも市民誰もが知る大イベントが確立できたらと思う。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
133	第4章	交通アクセスの悪い地域は、その解決が課題。都市部の住民が車を持っていないでも気軽にに行けるバスツアーの企画など。（コロナ対策が課題）	今後、関係機関等と連携しながら、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
134	第4章	地域の活動や小さな取組みにスポットを当てて紹介してほしい。特に伊敷地域草牟田小学校の伝統野菜（なす）の栽培。吉野地域の深ねぎの生産法人、喜入地域のとうもろこし、マンゴーのブランド化。また古くから知られている、さくら島大根、さくら島小みかんなどの体験収穫のプロデュースを行うべきだと思います。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
135	第4章	喜入にいる為、喜入の事を書きます。全てが中途半端（失礼）にみえる今からの時代、AI、ロボット、対極にあるSDGsを基本にした自然体験どれかに関する企画組みをしてほしい。晴れたらゲーム、マルシェ、雨降りは客足がサッパリ集客が難しい。地元、喜入・一倉の応援もほど遠い。市内で開催されたオーガニックフェア等大変な人気で、問題提起や意識の高い人々が多い。種子の事、薬害の事、肥料の事、話題に事かかない。若い方々（母親）の切実な問題。地理的に南薩・鹿児島市内の中心に有る為、からめた企画（学校、幼保育園、各施設、旅行団体、諸々）県内外を含めた雨天時にもできる企画。本物のこころでしかない企画がたくさんありそうです。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
136	第4章	各地域の具体的な取組は『促進、図る、支援、連携、強化、発信、魅力向上、と書かれているが、そうするためにどうする、といったことが具体的というのであって、この記され方は抽象的。誰が、どんな方法でやっていくのかを明確にすべき。それがこの地域別計画の評価となるのではないか。	ご意見として承ります。 ご意見については、本市の事業として実施するものや各地域の活動団体等と連携して取り組んでいくものなどがあることから、本計画においては、その方向性を示しているところです。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
137	第4章	良い	賛同のご意見として承ります。	E
138	第4章	(喜入について) グリーンファームを中心とした活動は進めるべき。地元の方々にもっとGFで行っているアクティビティをPRする事でより大きな流れが起きるかも。屋外での活動が望まれる中、今後チャンスは増えそう。	賛同のご意見として承り、指定管理者をはじめとする関係団体等と協力しながら更なる利用者増に向けて取り組んでまいります。	E
139	第4章	谷山、伊敷、吉野、吉田、桜島、喜入、松元、郡山の8つの地域の特徴を活かした内容になっていると感じます。新規の計画がちょっと弱く感じ、頭打ち感があるのかなと感じました。少年自然の家やジオパーク、未来館などとも連携し、組織の横ぐしを指す計画を立てていただきたい。	賛同のご意見として承り、関係機関と連携しながら取り組んでまいります。	E
140	第4章	各地域の特性や現状・課題が把握されている。	賛同のご意見として承ります。	E
141	第4章	地域別でそれぞれ個性や特色を活かしたグリーン・ツーリズムを展開していくことも様々な人々に需要があると感じました。	賛同のご意見として承ります。	E
142	第4章	地域を見ていたら、情報やイベントが少なすぎる。鹿児島には遊ぶスポットが少ないから。	鹿児島には遊ぶスポットが少ないのご意見ですが、横断的な取組として「ICT(先端技術)の活用と戦略的な情報発信」に取り組むこととしておりますので、「基本方針2 マイクログリーン・ツーリズムの推進」と並行して農村地域の資源を活用した体験・交流メニューの充実を図るとともに、情報発信に努めてまいります。	E
143	第4章	地域別計画については、広範囲すぎてわからない。	ご意見として承ります。	E
144	第4章	喜入にプロサッカーチームのトレーニング施設ができたので、鹿児島ユナイテッドFCと連携した体験、交流メニューを推進するのは、とても良いと思います。	賛同のご意見として承ります。	E
145	第4章	地域の資源をまずアピールしなければ、自分の住んでいる地域に誇りもなく、県外に流出すると思います。	ご意見として承ります。 「基本方針2 マイクログリーン・ツーリズムの推進」－「基本施策① 気軽に楽しめる体験メニューの充実」等を図りながら情報発信にも取り組んでまいります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
146	第4章	桜島地域へ観光に来られたお客様の意見として多いのが、昔荒々しい溶岩が身近に見られたが、どこにあるのによく聞かれる。今、生い茂る松・雑木に埋もれている溶岩を観光できるように整備し、観光客誘致につなげられないか。（例：国道沿いの整備・溶岩グラウンド周辺施設回り整備）	今後、関係機関等と連携しながら、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	E
147	第4章	【谷山】域内の優良な農地を保全し、地元住民の交流の場としての活用を図る⇒都市型GT 【伊敷】域内の農家住宅の空き家活用と、都市農業センターとの更なる連携強化を図る 【吉野】ハウス野菜農家との連携による新たな受入体制（インターンシップ）等市街地近接を生かす 【吉田】溪流や緑豊かな自然に恵まれた田園風景や山林をいかしたツーリズムの開発 【桜島】桜島の過疎計画の推進をいっそう支援するために地元組織や人材の育成強化を図る 【喜入】JR喜入駅、グリーンファーム、鹿児島ユナイテッド施設、喜入港等活用したメニュー 【松元】「まつもと茶」をいかすため、地元茶業者等とのいっそうの連携を図る⇒国体卓球 【郡山】地元の地域おこし団体等へのいっそうの支援と、八重の里のリニューアル早期実現	ご意見として承り、各地域の特性や現状・課題に応じて取り組んでまいります。	E
148	第4章	地域の実情には世代間で十人十色だと思います。どちらをより強く意識したものを選択するかによって大きく分かれるので、丁寧に聞き取ってほしいです。	ご意見として承り、各地域の特性や現状・課題に応じて取り組んでまいります。	E
149	第4章	谷山、伊敷、吉野、吉田、桜島、喜入、松元、郡山地域が様々な実情を抱えており、それに応じた無理のない取り組みをしていただきたいです。	ご意見として承り、各農村地域が抱える様々な実情等を踏まえながらグリーン・ツーリズムの推進に取り組んでまいります。	E
150	第5章	現在はほとんどの団体が団体独自の活動として単体として行っているが、団体相互の連携・協力システムがあるといいかなと思う。	「基本方針3 多様な主体による持続可能な体制づくり」－「基本施策① 各地域における運営マネジメント組織・ネットワークの強化」において取り組むこととしております。	B
151	第5章	もっと横のつながり（市の中で）があればより多くの事も出来そう。 喜入のグリーンファーム⇔平川動物公園⇔水族館 農協⇔漁協⇔森林組合 e t c	「基本方針3 多様な主体による持続可能な体制づくり」－「基本施策① 各地域における運営マネジメント組織・ネットワークの強化」において取り組むこととしております。	B
152	第5章	活動団体のアンケートを参加者にSNSで行い、活動団体に定期的にフィードバックする仕組みが出来れば、活動団体が今何が足りないか分かる体制が構築できればよいと切に願っています。	ご意見については「基本方針3 多様な主体による持続可能な体制づくり」－「基本施策① 各地域における運営マネジメント組織・ネットワークの強化」の中で取り組むこととしておりますので、横断的な取組「ICT（先端技術）の活用と戦略的な情報発信」と合わせて取り組みたいと考えております。	B
153	第5章	活動団体の細分化と手法の標準化が重要だと思います。地域別に「リーダー」を設け、互いに競い合う形がいいかなと。	「基本方針3 多様な主体による持続可能な体制づくり」において、各地域で住民や団体等が一体となって取り組む運営マネジメント組織の中心的人材の発掘・育成、構築を図ることとしております。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
154	第5章	一番の問題は、マネジメント、ネットワーク、各団体との歴史を含めた協働等。目配りができる企画が組める事が大事だと思います。	ご意見については、「基本方針3」－「基本施策①各地域における運営マネジメント組織・ネットワークの強化」、「基本施策②活動組織等の支援及びグリーン・ツーリズムを担う人材の育成」の中で取り組むこととしております。	B
155	第5章	鹿児島はグリーン・ツーリズムの推進において、素質・可能性は無限だと思う。常に新情報・話題を発信し、あきらめない・忘れられない魅力的な活動、街づくりを。	横断的な取組として「ICT（先端技術）の活用と戦略的な情報発信」に取り組むこととしておりますので、多くの皆様に魅力が伝わるよう取り組んでまいります。	B
156	第5章	グリーン・ツーリズムの関係者と体験者・利用者を合わせ協力していくことで、より良いグリーン・ツーリズムが生まれると感じました。インタビューやアンケートで積極的に意見を聞き、取り入れることで多くの視点から考えることが出来ると思います。	各種体験の実施時にアンケートを行い体験者のご意見をお聞きしているところですが、グリーン・ツーリズムのさらなる推進に向け、今後もアンケート等を活用して、感想・要望等を参考にしております。	B
157	第5章	教育行政（教育委員会）との連携、企業の新人研修や社員レクの場として活用してもらうための企業連携には、ぜひ力を入れて欲しい。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
158	第5章	鹿児島市グリーン・ツーリズム推進協議会については、組織も大き過ぎる為、農泊推進協議会等我々の活動に直結する組織の構築を望みます。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
159	第5章	・P D C Aサイクルは大事だし、働ける場所、稼げる場所を生み出すべき。 ・簿記、会計の知識を持った人も必要。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
160	第5章	体験型から現実型に、農家から手伝いを求め、報酬を作物の支給やあるいは現金で支払う。そして作物の購入ができることも前提。大切なことは農家の魅力を発揮し、心のふれあいが大切。期間は長く続くほうに。観光では鹿児島は桜島、錦江湾ジオパーク、世界遺産、それらも結びつけオンラインで配信し、体験の実施状況を日本、世界に配信してください。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
161	第5章	どのようにして進めていけば良いか、それぞれの地域住民が理解し、受け入れていくことも必要。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
162	第5章	関係団体、農村地域住民が継続して取り組むには、皆にメリットが無ければなりません。会議だけではなく、実践する事でおもしろみもあり、モチベーションも上がります。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
163	第5章	やはり体験してもらう事が大事だと思うので、利用者が使えるクーポンなどの発行が第一だと思う。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
164	第5章	市民意識調査やパブリックコメント、意見交換会などを表中に入れるとよりわかりやすい。	ご意見として承ります。市民意識調査やパブリックコメント、意見交換会等は当計画を推進するための手段であるため、記載していないところでございます。	E
165	第5章	良い	賛同のご意見として承ります。	E
166	第5章	既に素晴らしい事業を各地区で行われており、楽しませていただいています。ぜひ今後も市民が楽しめる事業をたくさん創出していただきたいです。PDCAをぜひよろしく願います。	ご意見として承ります。	E
167	第5章	鹿児島という自然豊かな土地を最大限に活かして、地域住民の方たちと連携を取り合いながらグリーン・ツーリズムを盛り上げて欲しいと思います。	ご意見として承ります。	E
168	第5章	(別問題かもしれませんが)豊かな自然や景観は、適正に管理された「農地風景」であると考えます。今、農村地域は担い手不足からくる「耕作放棄地」が年々増幅しております。この耕作放棄地対策とグリーン・ツーリズム事業推進を別々の観点から展開する?行政側の農村地域への支援策が見える「一元化されたプラン」を示してほしいと思います。	ご意見として承ります。 今後も引き続き関係機関等と連携しながら、取り組んでまいりたいと考えております。	E
169	第5章	これからSDGsを意識した取組が不可欠となりますが、今後どのように関わっていかれるかご教授ください。	第3期グリーン・ツーリズム推進計画においては、SDGsの目指す17の目標のうち4つの目標が関連することから、本計画においても、SDGsの視点を取り入れてまいります。	E
170	第5章	市の関係者が地域住民とどれだけ連携していくかが重要だと思う。	ご意見として承ります。	E
171	第5章	有識者だけでなく、その辺の人の意見もきいた方がよいのではと思う。	ご意見として承ります。 グリーン・ツーリズム推進協議会の委員構成は、有識者のほか、グリーン・ツーリズムの実践者や公募委員としているところです。また、各農村地域においても各地域の活動団体の代表者などを委員とする地域グリーン・ツーリズム推進連絡会を開催しておりますので、今後も継続してまいります。	E
172	第5章	市(グリーンツーリズム推進課)は、各計画の進捗状況や目標の取りまとめも大切ですが、各協力推進団体等の成功事例等を定期的に紹介して、各協力団体の発想を引き出すリーダーシップに期待します。再々言いますが、マスコミ等の利用により、このことを広く市民に知ってもらえる様、発信してほしい。農家等に限っては、特産品の紹介を改めて行える様マネジメントしてほしい。	ご意見として承ります。 今後とも戦略的な情報発信に取り組んでまいります。	E
173	第5章	推進体制、計画の進行管理ともに支持します。	賛同のご意見として承ります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
174	その他	今後の推進に向けて人口減少、高齢化（少子）、後継者の不在等で継続する事自体、地域によってはこの様な状況は逼迫している現状です。郡山八重地区におきましても先行を危惧致します。地域の保全活動も5年から10年が限界と感じております。	「基本方針3 多様な主体による持続可能な体制づくり」の中で、「基本施策② 活動組織等の支援及びグリーン・ツーリズムを担う人材の育成」及び「基本施策③ 若手人材をはじめとする多様な人材の参画促進」に取り組むこととしております。	B
175	その他	グリーン・ツーリズムは自然保全、農業推進に多様な人々を巻きこむ重要な運動だと思う。体験から一歩踏み出す人々を沢山育てることが大事だと思う。	「基本方針3 多様な主体による持続可能な体制づくり」－「基本施策② 活動組織等の支援及びグリーン・ツーリズムを担う人材の育成」において取り組むこととしております。	B
176	その他	インターネットなどは交流や発信が弱い地域の為にあると思う。農村地域こそ、インターネットの活用法の講習会やWi-Fi環境の整備、補助などが必要だと思います。	横断的な取組として「ICT（先端技術）の活用と戦略的な情報発信」において、効果的な情報発信やWi-Fi環境の整備等に取り組むこととしております。	B
177	その他	鹿児島県、鹿児島市は豊かな自然や文化遺産がある事は事実であります。周知、売込みするセンスが他より不足している様に思われる。今後は売れる農産品、体験できる収穫とキャンプによる自然との触れ合いなどを積極的にプロデュースしてほしい。“私達は食の安全と安定に寄与し、いつまでも笑顔で皆さんを受け入れます。お待ちしております。”	横断的な取組として「ICT（先端技術）の活用と戦略的な情報発信」に取り組むこととしておりますので、多くの皆様に鹿児島市の魅力が伝わるよう取り組むこととしております。	B
178	その他	市民が、「今度の休みは天気がいいから、あそこの畑で遊びたい」と言ってもらえるのがマイクログリーン・ツーリズムであると考えて。地域で遊ぶ場所を知らない市民が多いので、それを県外や国外の人に伝えることも当然ながらできない。市民のひろばなど、無料で皆が見られる媒体に情報を載せることも、SNSと同じくらい重要だと思う。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
179	その他	今、新島で「わくわくーばん」を利用して、サバイバル体験で食べられる草木の勉強をして、それを天ぷらにして食べるという活動をしています。そこらへんにいっぱいある雑草などで、すごく喜んでいただいています。新島に送り込んでくださったら、私達がおもてなししますのでよろしく願います。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
180	その他	私もグリーンファームの方々と協力して、農家体験や喜入地区の農家民泊・民宿の受け入れてもらえる方を募集してやっています。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
181	その他	市のグリーン・ツーリズムへの取組みは非常に評価しています。ただ他にもいろいろな団体と連携する事で、無駄な仕事やコストも減るのではと考える事もあります。市の方々には頑張ってもらいたいです。追記：本計画の「いきすぎ」により地方の自然・文化が壊れる事のないようにせねばとも思います。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
182	その他	お茶の里にインスタ映えのスポットや地元食材を使ったグルメやスイーツがあると良いなと思った。また、広い広場があるので移動販売やイベントとして出店、花火大会などあるともっと賑やかになるのではないかと思います。	今後、関係機関等と連携しながら、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
183	その他	Webでのshop、体験メニューの申込（精算まで）仕組みがあればと思います。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
184	その他	初めて意見募集を書かせていただきました。P10 基本方針1-②に記載あるナイトタイムイベントや早朝体験メニューの創出は長期滞在を促進するためにも必要であると考える。鹿児島市は四季折々さまざまな農作物の収穫ができるのは大きな魅力であり、都心在住の方が手ぶらで農家体験を年数回楽しみながら収穫した野菜などを享受できるプログラムの創出は、稼げるコンテンツになると考える。(日ごろはプロの方が畑仕事をする) 日置市では米俵が0円で送られてくるとのこと。興味深いと思うが、発信力とキャパが不足している。大規模にやることで集客(リピーター)確保にも繋がればと期待している。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
185	その他	グリーンファームと他の同様の施設と大きな違いがよくわからない。「グリーンファームならこの野菜」というような代名詞になるものがわからない。夏に訪れた時にヤングコーンが安くで売られていて、またおいしかった。「グリーンファームのコーン祭り」みたいなイベントがあれば(子供達は甘いコーンは割と好きな傾向にあるし)わざわざグリーンファームを選んで訪れる価値があると思う。 ・マイコーンを植えるイベント(有償)→収穫後、持ち帰れる。もしくは送付など ・コーン詰め放題 1袋いくらなど	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
186	その他	・ブッシュクラフトの講習は必要です。野外に出て心を落ち着かせるのは良いです。 ・シニアこそスマホなどのガジェットを使いこなせるようにならないといけない。あとeスポーツもやるべき。年配の人もeスポーツに参加しているから。 ・サイクリング、トレッキングが出来るような環境を。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
187	その他	グリーン・ツーリズムを背負ってきた民宿が高齢化してきて維持出来なくなりました。民宿者の負担をなくす為に、グリーンファームのバンガローを利用してもらい、体験もしていただき一石二鳥を狙う事がベストであります。	農家民泊や農家民宿の受入家庭を増やす取組みのほか、人材育成や多様な人材の参画などにより、農村地域の活性化につながるよう取り組んでまいります。また、グリーンファームの活用については、今後、各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
188	その他	・グリーンファームのSNS→自然の力強い魅力的な画像のUP ・グリーンファームの宿泊→泊り客を増やす。インバウンド、県外からの呼び込み。体験のブラッシュアップ。 ・グリーンファームの体験→外部講師ももっと増やす。体験の質をあげる(自然班)	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
189	その他	「OTONARIアプリ(企業の試供品を無料で配り、アンバサダーには報酬が入る仕組み)」みたいなのを開発し、8つの地域で使え、8つの地域の特産品を参加者がもらえ、素材提供者と配布者には労力に見合った報酬が入る仕組み、行政主導で取り組んでもらいたい。	今後、計画に基づく各種施策の実施に向けて参考とさせていただきます。	D
190	その他	畑(綿花)をしている事で、教育委員会、世界文化遺産、観光戦略の方、報道、各施設、学校、大学、未来館、福祉協議会の皆さんが見学に来られいくつか企画が生まれました。困るのは障害者、女性の方のトイレ、駐車場、先しあたりそこからです。3年も活動しても(その地で)しょせん、よそ者扱いで活動の制約が余儀なくされる現実があるのです。	「基本方針3 多様な主体による持続可能な体制づくり」の中で、各地域で一体となった取組を推進することとしておりますので、ご意見については参考とさせていただきます。	D
191	その他	新型コロナウイルス禍にあつては、鹿児島市グリーンツーリズム推進課はもちろん鹿児島市観光交流課の研修会や施策にお世話になりました。鹿児島市グリーンツーリズム推進課を中心に他部署との連携を密にし活動の輪を広げ、稼げる田舎作りが出来る様にご指導願いたい。	ご意見として承ります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
192	その他	私自身、進学を機に鹿児島市に住んでいますが、まだまだ知らない魅力があるため、様々な場所を訪れ、家族・友人に宣伝していきたいと思います。知らなければ何も生まれないため、まずは鹿児島市のグリーン・ツーリズムを知っていき、これからの時代、人々にとって必要なものになると考えるグリーン・ツーリズムを実際に体験し、少しでも広めることが出来たらと思っています。	賛同のご意見として承ります。 横断的な取組として「ICT（先端技術）の活用と戦略的な情報発信」に取り組むこととしておりますので、多くの皆様に魅力が伝わるよう取り組んでまいります。	E
193	その他	明るい農村が来るといいですね。	賛同のご意見として承ります。	E
194	その他	「地域経営」の視点、ワードを入れたらどうか？	ご意見として承ります。	E
195	その他	グリーンファームの市内認知度もまだまだ低く、県内は極端に低いのでは？	ご意見として承ります。 今後も指定管理者をはじめとする関係団体等と協力しながら更なる認知度向上に向けて取り組んでまいります。	E
196	その他	市民の意識として、コロナ前に戻ることは難しいだろうと思う。感染対策をしつつ、何ができるか。どうしたら「やすらぎ」や「生きがい」を感じてもらえるか。様々な立場や世代の意見をきくことが大切だと思う。	ご意見として承ります。	E
197	その他	コロナが一段落したところで、公民館等、トイレ用の乾燥機を設置していただきたいものです。山形屋はコロナに関係ないとのことで稼働しました。	ご意見として承ります。	E